

羽曳野市の就学前教育・保育の現状と課題

〔現状〕

人口減少・少子化の進行等を受け、この10年で当市の就学前児童数が大幅に減少し、公立幼稚園児も半分以下に減少

◎就学前児童（0～5歳）の人口

〔平成20年：6,342人→平成30年：4,718人（1,624人（約26%）減少）〕

◎公立幼稚園児数

全年齢が単クラスで、13園中6園では10人未満のクラスが存在。また、8園では園全体でも40人に満たない状況で、全体の入所率は約48%。

〔園児数：平成20年 968人→平成30年 450人〕



〔課題〕

幼稚園児の減少による集団活動への対応

〔現状〕

保育園児は、保育二一ズの高まり等から微増

◎保育園児数（公立・民間）

10年前から117人（6%）増加し、入所率は公立民間合わせて約103%。ただし、少子化等の影響から平成32年度をピークに減少に転じる見込み。

〔園児数：平成20年 1,871人→平成30年 1,988人〕

〔課題〕

保育園児の増加による待機児童ゼロへの対応

〔現状〕

多くの施設で老朽化が進み、耐震性に課題

◎公立保育園・公立幼稚園

多くが昭和40～50年代の建築で老朽化が進み、一部施設では耐震化が必要。



〔課題〕

施設の耐震化・老朽化への対応

今後の基本的な方向性・方針等

■ 持続的かつ質の高い総合的な就学前教育・保育の充実を推進するため、公立園の認定こども園化を基本に統合・再編を検討します。

- ・高鷲北幼稚園は、平成31年度の新規募集を行わず平成31年度末で閉園
- ・島泉保育園は、平成30年度の0歳児の新規募集は行わず段階的に縮小し平成34年度末で閉園
- ・恵我之荘幼稚園・丹比幼稚園は、向野保育園との統合・再編により、平成33年度の開設を目標に認定こども園への移行に取り組み、1号認定（幼稚園）での3歳児保育、預かり保育を実施
- ・その他の公立幼稚園・保育園についても認定こども園化を基本に統合を検討。また、認定こども園化に併せて1号認定（幼稚園）での3歳児保育、預かり保育の実施を検討
- ・当面、認定こども園への移行を想定していない幼稚園については、平成30年度から3年間で3歳児保育を順次実施

<1号認定（幼稚園）での3歳児保育の実施・認定こども園への移行（案）>

平成30年度	殖生幼稚園・認定こども園こども未来館たかわし
平成31年度	駒ヶ谷幼稚園
平成32年度	羽曳が丘幼稚園・高鷲南幼稚園
平成33年度	認定こども園（恵我之荘・丹比幼稚園 / 向野保育園）
平成34年度以降（順不同）	認定こども園（白鳥・西浦・西浦東幼稚園 / 軽里保育園） 認定こども園（古市・古市南幼稚園 / 下開保育園） 認定こども園（殖生南幼稚園 / はびきの保育園）

※これからの公立幼稚園・保育園について一定の方向性を示したものであり、具体的な施設整備などについては、今後検討・計画を策定し、説明会等を通じ、保護者や地域の皆様方のご意見を伺い、整備を進めてまいりたいと考えています。

認定こども園とは（主な特徴）

・幼稚園と保育園の機能を併せ持った施設

幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持つ施設で、一体的かつ一貫した教育・保育サービスの安定した提供が可能。



・保護者の就労状況に関わらず利用が可能

入園後に仕事を辞められた場合でも、保育を必要としない1号認定児（幼稚園児）として引き続き通園することが可能。



・子育て支援機能が充実

地域の子育て相談や親子の交流等を通じ、必要な情報の提供や助言を行うなど、子育て支援機能が充実。

園児数と利用定員数の推計

今後の園児数の推計等も踏まえ、1号認定児（幼稚園児）をはじめ、2・3号認定児（保育園児）においても民間園との連携・協力等により必要な利用定員数を確保できるものと見込んでいます。

なお、幼児教育無償化の国の動向等、状況の変化

に応じて必要な見直しを行います。



〔認定こども園の運営事例〕

羽曳野市で第1号の公立認定こども園として開園した「こども未来館たかわし」では、新しくなった施設でいろいろな活動に取り組み、たくさんのおもしろさを感じながら、学び、チャレンジできる環境を整えるなど、就学前教育・保育の充実に取り組んでいます。

主な取り組み

◆幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿って総合的な教育・保育を行います

「生きる力」の基礎を育成するため、遊びを通じた総合的な指導の中で、豊かな心と健やかな体をはぐくみます。

◆充実した課内課外授業を行います

全室冷暖房完備の快適な環境で、英語教室や親子クッキング、読み書きや体操等の課内課外授業を行い、子どもたちの成長をサポートします。

◆地域の子育てを支援します

すべての子育て家庭を対象に、子育て相談事業などを実施します。また、1号認定児（幼稚園児）の3歳児保育や在園児を対象とした預かり保育を実施します。

期待できる主な改善効果

☆幼稚園における幼児教育での適正規模化

☆異年齢交流の機会を通じて、豊かな心を育む



☆支給認定区分（1号認定⇔2・3号認定）の柔軟な対応が可能（継続的な待機児童ゼロの実現）

☆教育・保育施設としての社会資源の有効活用



☆効果的な耐震・老朽化対策（幼稚園・保育園における施設の改善）

☆機能的な施設での持続的かつ質の高い総合的な就学前教育・保育

☆より円滑な小学校との接続を実現

羽曳野市立幼保連携型認定こども園こども未来館たかわし

